

平成29年度 学習指導計画書

教科	公民	科目・単位	現代社会・2単位
学科類型	普通科Ⅱ類	学 年	第1学年
教科書	清水書院 現代社会		
副教材	授業プリント		
学習目標	1 人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深める。 2 現代社会の基本的な問題について、主体的に考察し公正に判断する力を培う。 3 社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などの観点を身に付ける。		

学習内容

学期	学習内容	学習のねらいと指導上の留意点
1	1 青年と自己実現 (1) 青年期とは (2) 現代社会と青年期の生きかた (3) 働くこと、社会と関わること (4) 文化と青年 (5) 信仰と青年 [課題学習]「自分探し」って何だろう	青年期の特徴について、主に心理学的視点から自分のおかれている状況を理解させる。 青年期が延長されている現状とモラトリアムの意味と問題点を考えさせる。 現代社会の雇用の現状と課題を把握し、共生社会における働き方について考える。 身の回りのものと関連づけながら、日本の生活文化や伝統文化について理解する。 世界のさまざまな宗教を理解し、宗教のもつ意味について考える。
2	2 民主政治の基本原則 (1) 基本的人権の保障 (2) 日本国憲法の成立と三大原則 (3) 国民主権と天皇制 (4) 日本国憲法の人権保障 (5) 国の法律・政策を決める国会 (6) 国の具体的な政治を行う内閣 (7) 人権と法を守る裁判所 (8) 日本の平和主義	基本的人権が、どのような歴史を経て獲得されたかを理解させる。 日本国憲法と大日本帝国憲法の成立過程を比較し、相違点を考えさせる。 日本国憲法の三大原則を理解させ、象徴天皇制のあり方について考えさせる。 日本国憲法で保障されているさまざまな人権について、その内容を理解させる。 国会の仕組みと働きについて理解させる。 議院内閣制の仕組みと特徴について理解させ、行政権の拡大の問題点について把握させる。 裁判所の役割と仕組みを理解させ、司法権の独立の意義について考えさせる。 日本の平和主義について第9条と自衛隊との関連をもとに考えさせる。
3	3 国民の政治参加と地方自治 (1) 地方自治－住民の政治参加 (2) 政党政治と選挙 (3) マス・メディアの役割と世論の形成 [課題学習]選挙制度と平等	自由と責任のかかわりについて、先人の思想を踏まえながら考えさせる。 社会契約説から、国民がいかに関わり政治にかかわっていくべきかを考えさせる。 生活を送るうえで守らなければならないルールの意味について考えさせる。 司法制度改革の背景と内容を理解し、市民として裁判員制度にどのように関わらべきかを考えさせる。
4	4 現代の経済社会 (1) 経済主体と経済循環 (2) 景気変動と物価 (3) 経済規模と経済成長 (4) 日本経済の復興と民主化政策 (5) 企業の役割とはたらき (6) 租税のしくみと財政政策 (7) 金融機関と金融政策 5 経済活動のありかた (1) 社会保障制度の役割と課題 (2) 労働問題を考える (3) 環境を守るために (4) 安全な食物と日本の農業 (5) 消費者と企業－私たち一人ひとりの責任	市場メカニズムなど経済の基礎的な仕組みと概念について理解させる。 景気や物価の変動の原因を理解させる。 GDPやGNIなど国の経済をはかる「ものさし」について理解させる。 戦後の日本経済の歴史的過程について理解させる。 企業の役割とはたらきについて理解させる。 財政と租税の仕組みと機能について理解させる。 金融の仕組みと役割を理解させ、金融の自由化の現状について考えさせる。 社会保障制度の歴史的経過を把握させ、制度の内容と課題について理解させる。 日本型雇用慣行および労働者をめぐる状況の変化について理解させる。 公害の歴史と、それに対する政府や企業の取り組みを理解させ、自分たちができることを考えさせる。 日本の食料の現状を理解させ、これからの食と農業のあり方について考えさせる。 消費者の権利を理解させ、かしこい消費者になるためにはどのように行動すべきかを考えさせる。

平成29年度 学習指導計画書

教 科	公民	科目・単位	現代社会・2単位
学科類型	普通科I類	学 年	第1学年
教科書	清水書院 高等学校 現代社会 最新版		
副教材			
学習目標	<p>1 人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深める。</p> <p>2 現代社会の基本的な問題について、主体的に考察し公正に判断する力を培う。</p> <p>3 社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などの観点を身に付ける。</p>		

学習内容

学期	学習内容	学習のねらいと指導上の留意点
1	現代社会における諸課題（環境） 青年期と自己の形成 現代の民主政治	<ul style="list-style-type: none"> 現代の大きな問題となっている環境法について、その本質を理解させる。 青年期の特徴について、主に心理学的視点から自分のおかれている状況を理解させる。 基本的人権獲得の歴史的経過を理解させる。
2	個人の尊厳と法の支配 民主社会と倫理	<ul style="list-style-type: none"> 自由と責任のかかわりについて、先人の思想を踏まえながら考えさせる。 司法制度改革の背景と内容を理解し、市民として裁判員制度にどのように関わるべきか考えさせる。
3	現代の経済社会と経済活動のありかた	<ul style="list-style-type: none"> 市場メカニズムなど経済の基礎的な仕組みと概念について理解させる。 社会保障制度の歴史的経過を把握させ、制度の内容と課題について理解させる。
4	国際社会の動向と日本の果たすべき役割 ともに生きる社会をめざして	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会の成り立ちと、近年のグローバル化について理解させる。 国際収支の仕組みと、為替相場の変動要因と社会に与える影響について理解させる。 冷戦後に世界における紛争の現状と背景について理解させる。

平成29年度 学習指導計画書

教科	地理歴史	科目・単位	世界史A・2単位
学科類型	普通科 II類	学 年	第2学年
教科書	第一学習社 高等学校世界史A		
副教材			
学習目標	1、近現代史を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき正しく理解する。 2、現代の諸課題を歴史的観点から考察し、国際的社会で主体的に生きる力を身につける。 3、学習している地域の地図をその都度確認し、各国の位置関係など、地理的な感覚を養う。		

学習内容

学期	学習内容	学習のねらいと指導上の留意点
1	第2編 世界の一体化と日本 第2章 結びつく世界と近世の日本 第3章 ヨーロッパ・アメリカの 工業化と国民形成	大航海時代をきっかけに、諸地域の交流が生まれたことを理解する。 近代ヨーロッパの動向と国際関係を理解する。 産業革命が果たした歴史的意義を考察する。 アメリカ独立革命、フランス革命、ラテンアメリカ諸国の独立が果たした歴史的意味について考察し、基本的知識を身につける。
2	第4章 アジア諸国の変貌と近代の日本	ウィーン体制化での自由主義、国民主義の運動について正しく理解する。 国民主義の高まりから国民国家形成までの過程を把握する。 西部開拓と先住民や黒人奴隷との関係などから、アメリカの国民形成の独自性について理解する。 日本の明治維新とその後の近代化の動きが、東アジア諸国に与えた影響について知識を身につける。
3	第3編 地球社会と日本 第1章 帝国主義の時代 第2章 急変する人類社会 第3章 世界戦争と平和	帝国主義列強の世界政策を正しく理解する。 帝国主義列強の植民地支配について、現在まで残る問題と関連付けて考察し、理解する。 第一次世界大戦について、意欲的に探究する。 第一次世界大戦後の国際秩序について、正しく理解する。 世界恐慌からファシズムの台頭、第二次世界大戦に至るまでの過程を互いに関連付けながら把握する。 第二次世界大戦の性格と、その過程で生じた米ソ冷戦の淵源や、原爆使用の意味について理解する。
4	第4章 三つの世界と日本の動向 第5章 地球社会への歩みと課題	米ソ陣営の対立、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立に対する関心を高め、1970年ころまでの世界の政治・経済の動向について理解する。 アジア・アフリカの民族独立運動、第3世界の台頭とその国際的役割、アジア・アフリカ諸国が抱える諸問題について理解する。 東欧諸国の民主化とソ連の社会主義体制の崩壊について関心を高め、正しく理解する。

平成29年度 学習指導計画書

教科	地理歴史	科目・単位	世界史B・4単位
学科類型	普通科Ⅱ類	学 年	第2学年
教科書	山川出版社 詳説世界史B		
副教材	浜島書店 ニューステージ世界史詳覧		
学習目標	1 中世から近世ヨーロッパの歴史を宗教と政治の関係を踏まえて理解する。 2 宋代から清代にかけての中国史を通史的に理解する。 その際、東アジア諸国との関係も理解し、当時の中国の国際的な位置づけを把握する。 3 学習している地域の地図をその都度確認し、各国の位置関係など地理的な感覚を養う。		

学習内容

学期	学習内容	学習のねらいと指導上の留意点
1	第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展 2、東ヨーロッパ世界の成立 3、西ヨーロッパ中世世界の変容 4、西ヨーロッパの中世文化 第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開 2、東アジア諸地域の自立化	ビザンツ帝国の繁栄とその社会や文化、スラヴ人と周辺諸民族の自立の過程を理解する。 十字軍以降の西ヨーロッパ中世世界の変容と諸国の動向を理解する。教会と修道院、大学やスコラ学などから、ヨーロッパ中世文化の特色を理解する。 契丹や女真といった遊牧諸勢力の台頭や日本を含めた東アジア諸地域の勢力交替、宋の興亡と社会や文化の特色を理解する。
2	第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開 3、モンゴルの大帝国 第7章 アジア諸地域の繁栄 1、東アジア地域の動向 2、清代の中国 3、トルコ・イラン世界の展開	モンゴル帝国の興亡と、その活動が日本を含む諸地域世界に与えた影響の大きさを理解する。 中華帝国を再現した明朝の動向とともに、朝鮮や日本など東アジア世界の状況を理解する。 清朝の形成した広大な領域支配とその社会や文化とともに、東アジア世界の動向を理解する。トルコ・イラン世界に誕生したイスラーム帝国の動向とその社会や文化の特質を理解する。
3	第7章 アジア諸地域の繁栄 4、ムガル帝国の興隆 第8章 近世ヨーロッパ世界の形成 1、ヨーロッパ世界の拡大 2、ルネサンス 3、宗教改革	南アジアに誕生したムガル帝国の動向とインド社会や文化の変化、東南アジア交易の発展を理解する。 ヨーロッパ世界の拡大とアメリカ大陸の征服、それに伴うヨーロッパ社会の変革の動きを理解する。 ルネサンスのもたらした芸術・思想・科学の変革の内容と意義を理解する。 ドイツから始まった宗教改革の理念とその拡大、カトリック教会の対応を理解する。
4	第8章 近世ヨーロッパ世界の形成 4、ヨーロッパ諸国の抗争と 主権国家体制の形成 第9章 近世ヨーロッパ世界の展開 1、重商主義と啓蒙専制主義 2、ヨーロッパ諸国の海外進出 3、17～18世紀ヨーロッパ文化と社会	近代国家の原型となった主権国家体制の特色と、体制の形成に向かうヨーロッパ諸国の内乱や戦争の動向を理解する。 17～18世紀におけるヨーロッパ主権国家諸国の動向を、重商主義と啓蒙専制主義を柱として理解する。 ヨーロッパ諸国の植民地争奪と大西洋世界の三角貿易のもたらした国際的枠組みを理解する。 17～18世紀におけるヨーロッパ文化の特色と、それを生み出した社会状況を理解する。

平成29年度 学習指導計画書

教科	地理歴史	科目・単位	日本史B・4単位
学科類型	普通科Ⅱ類	学 年	第2学年
教科書	山川出版社 詳説日本史B		
副教材	新詳日本史 浜島書店		
学習目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。		

学習内容

学期	学習内容	学習のねらいと指導上の留意点
1	第Ⅰ部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの 1. 文化の始まり 2. 農耕社会の成立 3. 古墳とヤマト政権 第2章 律令国家の形成 1. 飛鳥の朝廷 2. 律令国家への道 3. 平城京の時代 4. 天平文化 5. 平安王朝の形成	○人類文化の発生、石器・土器の発掘、竪穴住居の状況など日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。 ○大陸からの稲作伝播に端を発した、集落形成と墓の変容から東アジア世界との交流と関連付けて考察する。 ○ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察し、政権内での権力闘争を理解する。 ○大陸文化の移入による法治国家の形成過程を考察し、平安王朝の形成を理解する。
2	第3章 貴族政治と国風文化 1. 摂関政治 2. 国風文化 3. 地方政治の展開と武士 第Ⅱ部 中世 第4章 中世社会の成立 1. 院政と平氏の台頭 2. 鎌倉幕府の成立 3. 武士の社会 4. 蒙古襲来と幕府の衰退 5. 鎌倉文化	○院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。 ○政治の動向、国際関係・経済・文化への対応を踏まえて、平氏政権の特性について考察する。 ○鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。
3	第5章 武家社会の成長 1. 室町幕府の成立 2. 幕府の衰退と庶民の台頭 3. 室町文化 4. 戦国大名の登場	○南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。 ○武家政権の支配の進展や東アジア世界との交流に着目して、武家文化と公家文化及び大陸文化と伝統文化のかかわりについて理解する。 *庶民文化の萌芽や、応仁の乱を契機とした文化の地方伝播、戦国大名の保護による文化の地方普及を理解する。
4	第Ⅲ部 近世 第6章 幕藩体制の確立 1. 織豊政権 2. 桃山文化 3. 幕藩体制の成立 4. 幕藩社会の構造	○織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について考察する。 ○江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を考察する。 ○江戸幕府の鎖国政策について、単なる対外貿易の遮断ではなく、鎖国後の貿易関係の在り方も含めてその影響と歴史的意義について考察する。 ○幕藩体制の確立期の経済・社会を兵農分離や村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察する。

平成29年度 学習指導計画書

教科	地理歴史	科目・単位	日本史A・2単位
学科類型	普通科 II類	学 年	第2学年
教科書	清水書院 「高等学校 日本史A」(310)		
副教材			
学習目標	我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。		

学習内容

学期	学習内容	学習のねらいと指導上の留意点
1	国際環境の変化と幕藩体制の動揺 明治維新と近代国家の形成	産業革命の進展によってイギリスを中心に資本主義が急速に発展し、欧米諸国が18世紀以降にアジアに進出してきた背景を考察する。 江戸幕府の滅亡から明治新政府の成立にいたる経過を読み解く。
2	立憲政体の成立と国際的地位の向上 第一次世界大戦と日本 ①護憲運動と大正デモクラシー	条約改正が最大の外交課題であることを理解する。 日清・日露戦争の経緯と結果を理解する。 明治後半から大正期において、国内的に政党政治が展開したことを理解する。
3	第一次世界大戦と日本 ②第一次世界大戦への参戦と国際関係の変化 ③大戦景気と米騒動 ④政党内閣の成立と戦後恐慌 ⑤ヴェルサイユ体制 ⑥国際連盟の成立とワシントン体制 ⑦社会運動の高まり ⑧関東大震災と政党内閣の時代 ⑨大衆文化の成立 第二次世界大戦と日本	第一次世界大戦・第二次世界大戦の経緯と結果を理解する。 ヴェルサイユ講和条約からワシントン体制にいたる動向が世界に与えた影響と我が国の立場を理解する。 世界恐慌に対する我が国の対応策と世界の対策を理解する。
4	現代の日本と世界	冷戦の終結と激動する国際情勢、国際的経済秩序の転換の中で、日本の政治・経済の在り方を考えさせる。

平成29年度 学習指導計画書

教 科	公民	科目・単位	倫理・2単位
学科類型	普通科 II類	学 年	第2学年
教科書	「高等学校 改訂版 倫理」(第一学習社)		
副教材	「倫理資料集 テオリア」(第一学習社)		
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青年期を生きる人間として、自己の課題を解決する糸口を見つける。 ・ 道徳心を養い、人としての素養を高める。 		

学習内容

学期	学習内容	学習のねらいと指導上の留意点
1	1章 青年期の課題と自己形成 2章 人間としての自覚	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人間の特質とは何かを理解する。 ・ 自分の生きている青年期はどのような位置にあり、どのような発達課題があるのかを考える。 ・ 青年期の心身の特徴を把握するとともに、青年期の悩みの心理的特徴に気づき、悩むことが自己形成につながることを理解する。 ・ 高校生の意識調査の結果を分析し、そこに現れている現代の高校生の特徴を読み取る。 ・ 自分自身の心にかかる状態を防衛機制の図にあてはめて考え、粘り強く欲求を抑制し、調整しながら目標達成を図る必要性を理解する。
2	3章 国際社会に生きる日本人としての自覚	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本人の精神的特性が、日本の風土とどのように関連しているのかを考える。 ・ 書籍や聞き取り調査などから日本の神話や伝承に関する諸資料を収集し、古代の日本人がどのような倫理意識を持っていたのかを理解する。
3	4章 現代に生きる人間の倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人間の尊厳に関わる思想家の思索を通して、西洋の近代人は、人間の尊厳をどこに見いだしていたのかを考える。 ・ 現代社会において人間の尊厳を自覚することの意義について考える。 ・ 先哲の思想の中から、人間の尊厳に関わる資料を収集し、活用する。
4	5章 現代の諸課題と倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・ クローン技術、遺伝子組換え、脳死臓器移植、安楽死と尊厳死、医療における自己決定権などのテーマから、探究したい課題を見だし、多面的・多角的に考察する。 ・ 生命をめぐる問題となっている事例を収集し、主体的に選択して活用する。 ・ 探究した結果を「問題点を話し合う」「自分の考えを文章にまとめる」などの方法で適切に表現する。

平成29年度 学習指導計画書

教科	地理歴史	科目・単位	地理B・4単位
学科類型	普通科 II類	学 年	第2学年
教科書	新詳地理B(帝国書院)		
副教材			
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の地理的知識を身につける。 ・地形の仕組みを知る。 		

学習内容

学期	学習内容	学習のねらいと指導上の留意点
1	第1編 現代世界の特色と諸課題の地理的考察 1章 地球儀や地図でとらえる現代世界	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化が急速に進んでいる現在では、平面で認識していた世界を、地球という球面で考えていかなければならないことを、地図を使った作業をとおして学習する。 ・地球儀上の位置の示し方や時差の考え方を学び、時差の計算ができるようになる。 ・メルカトル図法、正積図法、正距方位図法で描かれたさまざまな地図を地図帳(アトラス)やインターネット等を使って集め、その特徴と欠点を理解し、用途に応じた適切な図法を選択できるようになる。 ・世界観の広がりとともに地図に描かれる内容が変化してきたことを理解し、現在見られる衛星画像や地理情報システムなど新しい地図表現の役割を理解する。
2	2章 世界の人々の生活を取りまく地球的環境	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の生活様式の差異を、地理的環境とのかかわりから理解する。 ・世界の自然環境は地域的に大きく異なっていることに気づき、現在のような分布になった理由について、関心をもって学習する。 ・世界の自然環境を地形と気候の面から大きくとらえ、なぜ差異が生まれるのか、人間生活にどのように影響しているのかについて理解する。また、雨温図を作成する作業をとおして、世界を各気候区分に分類する技術を養う。
3	3章 世界の諸地域の生活・文化と環境	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各地での人々の生活・文化は、その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを理解し、日本の生活・文化を絶対視することなく、教科書の写真・地図を正確に読み取って広い視野から異文化を理解・尊重する態度を養う。 ・中国の自然と農業を踏まえ第二次世界大戦後営まれてきた人々の生活・文化が、近年の経済発展でどのように変化してきたのかを理解し、中国と日本の相互依存関係についてまとめ、話し合う。
4	4章 私たちが直面する地球的課題 需給のアンバランス	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを理解する。 ・各地球的課題について、地域性を踏まえて把握するとともにその問題の所在や解決の方向性を図書館やインターネットなどで調べ、話し合う。

平成29年度 学習指導計画書

教科	地理歴史	科目・単位	世界史B・4単位
学科類型	普通科I類	学 年	第2学年
教科書	実教出版 世界史B		
副教材	浜島書店 ニューステージ世界史詳覧		
学習目標	1 中世から近世ヨーロッパの歴史を宗教観も踏まえて理解する。 2 宋代から清代の中国史を通史的に理解する。その際、東アジア諸国との関係も理解する。 3 学習している地域の地図を絶えず確認し、地理的な感覚を養う。		

学習内容

学期	学習内容	学習のねらいと指導上の留意点
1	第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展 3、西ヨーロッパ中世世界の変容 4、西ヨーロッパの中世文化 第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開 2、東アジア諸地域の自立化	十字軍以降の西ヨーロッパ中世世界の変容と諸国の動向を理解する。 隋唐帝国の国家制度や文化、日本を含む東アジア世界諸国の国家体制の整備やその動向を理解する。 イスラーム世界成立の背景とその特質、アラブ人による発展とイスラーム帝国の形成を理解する。 ビザンツ帝国の繁栄とその社会や文化、スラヴ人と周辺諸民族の自立の過程を理解する。 教会と修道院、大学やスコラ学などから、ヨーロッパ中世文化の特色を理解する。
2	第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開 3、モンゴルの大帝国 第7章 アジア諸地域の繁栄 1、東アジア地域の動向 2、清代の中国 3、トルコ・イラン世界の展開	トルコ・イラン世界に誕生したイスラーム帝国の動向とその社会や文化の特質を理解する。 中華帝国を再現した明朝の動向とともに、朝鮮や日本など東アジア世界の状況を理解する。 清朝の形成した広大な領域支配とその社会や文化とともに、東アジア世界の動向を理解する。 モンゴル帝国の興亡と、その活動が日本を含む諸地域世界に与えた影響の大きさを理解する。
3	第7章 アジア諸地域の繁栄 4、ムガル帝国の興隆 第8章 近世ヨーロッパ世界の形成 1、ヨーロッパ世界の拡大 2、ルネサンス 3、宗教改革	南アジアに誕生したムガル帝国の動向とインド社会や文化の変化、東南アジア交易の発展を理解する。 ヨーロッパ世界の拡大とアメリカ大陸の征服、それに伴うヨーロッパ社会の変革の動きを理解する。 ルネサンスのもたらした芸術・思想・科学の変革の内容と意義を理解する。 ドイツから始まった宗教改革の理念とその拡大、カトリック教会の対応を理解する。
4	第8章 近世ヨーロッパ世界の形成 4、ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成 第9章 近世ヨーロッパ世界の展開 1、重商主義と啓蒙専制主義 2、ヨーロッパ諸国の海外進出 3、17～18世紀ヨーロッパ文化と社会	近代国家の原型となった主権国家体制の特色と、体制の形成に向かうヨーロッパ諸国の内乱や戦争の動向を理解する。 17～18世紀におけるヨーロッパ主権国家諸国の動向を、重商主義と啓蒙専制主義を柱として理解する。 ヨーロッパ諸国の植民地争奪と大西洋世界の三角貿易のもたらした国際的枠組みを理解する。 17～18世紀におけるヨーロッパ文化の特色と、それを生み出した社会状況を理解する。

平成29年度 学習指導計画書

教科	地理歴史・公民	科目・単位	社会基礎・1単位
学科類型	普通科 I類	学 年	第2学年
教科書			
副教材			
学習目標	地理歴史・公民という枠に沿いながらも、それにとらわれすぎずに、広く社会に関心を持ち、その関心を探究する力をつける。また、探究した成果を「伝える」ための表現力を身につける。		

学習内容

学期	学習内容	学習のねらいと指導上の留意点
1	発表(班活動) 新聞を解説してみよう。	各班で新聞記事をいくつか選択し、班ごとに解説する。世の中に対する「なぜ？」を喚起し、また社会の動向への抵抗感を緩和させる。 班活動を通じて、資料作成、発表活動までを仲間と協同する。その過程で「？」を「！」に変える、をテーマに社会を多角的視点で捉え、人に伝える。
2	発表(班活動) 社会の授業をしてみよう。	各班で「現代社会」「日本史」「世界史」の教科書の中から、テーマを選択し、実際に授業をしてもらう。授業を通じて、「伝える」難しさを学ぶ。 班活動を通じて、資料作成、発表活動までを仲間と協同する。その過程で「？」を「！」に変える、をテーマに社会を多角的視点で捉え、人に伝える。
3	発表(班活動) プレゼンをしてみよう。	各班でテーマを決め、班ごとにプレゼンを行う。情報機器を用いた伝達の難しさを学ぶ。課題設定→仮説→検証→評価の探究過程を身につける。 班活動を通じて、資料作成、発表活動までを仲間と協同する。その過程で「？」を「！」に変える、をテーマに社会を多角的視点で捉え、人に伝える。
4	発表(班活動) 「なぜ？」を探究しよう。	各班で、日常生活で疑問に思うことをとりあげ、探究させる。発表の方法はこれまで行ってきた方法のいずれでも構わない。課題設定→仮説→検証→評価の探究過程を身につける。 班活動を通じて、資料作成、発表活動までを仲間と協同する。その過程で「？」を「！」に変える、をテーマに社会を多角的視点で捉え、人に伝える。

平成29年度 学習指導計画書

教科	地理歴史	科目・単位	日本史B・4単位
学科類型	普通科I類	学 年	第2学年
教科書	実教出版 高校日本史B		
副教材	浜島書店 新詳日本史 実教出版 高校日本史B ワークノート		
学習目標	1 日本の通史を事実に基づき把握し、歴史の構造とその変化の過程を理解する。 2 歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養う。 3 日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につける。		

学習内容

学期	学習内容	学習のねらいと指導上の留意点
1	第1章 文化と国家の形成 第2章 古代国家の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・石器時代には、平等な社会だったが、農耕がはじまると貧富の差があらわれ、権力者が出現してくることを意味をとらえさせる。 ・自分たちの地域に残る古墳と畿内にある巨大な古墳とのかかわりを調べさせる。 ・飛鳥・奈良に古代の都が成立した意味を考えさせる。 ・古代国家が中国との関係のなかで成立したことを理解させる。
2	第2章 古代国家の確立 第3章 中世社会の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・古代国家の政治・経済・文化の特徴をとらえさせる。 ・古代の都と地方の関係を調べさせる。 ・古代国家の税制・鎮守国家仏教の特徴をとらえさせる。 ・藤原氏が摂政関白として権力をもつようになる過程を理解させる。 ・荘園公領制の成立と武士が権力を得ていく過程を理解させる。 ・御家人制度を基盤とする鎌倉政権の意義をとらえさせる。 ・農工業の発達と流通の発展の関係を調べさせる。 ・蒙古襲来が鎌倉幕府に与えた影響について考えさせる。 ・鎌倉時代の文化と仏教の特徴をとらえさせる。
3	第3章 中世社会の成立 第4章 中世社会の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・南北朝の内乱が長い間続くのはなぜか考えさせる。 ・室町幕府の性格と対外関係の特徴を理解させる。 ・南北朝時代の文化と北山文化の特徴を理解させる。 ・室町時代の流通経済の発達過程を理解させる。 ・惣村が形成されていく意義と特徴をとらえさせる。 ・惣村を基盤とする一揆がなぜ起こってきたのかを考えさせる。 ・室町幕府の衰退から戦国時代の始まりまでの過程を考えさせる。
4	第5章 統一政権の成立 第6章 幕藩体制の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・大航海時代とはどのような時代か考えさせる。 ・織田信長の天下統一政策の特徴をとらえさせる。 ・豊臣秀吉の天下統一政策の特徴をとらえさせる。 ・豊臣政権の朝鮮侵略などの意味を考えさせる。 ・桃山文化の特徴を理解させる。 ・徳川家康の政権樹立過程をとらえさせる。 ・徳川幕藩体制の特徴を理解させる。 ・江戸時代初期の対外政策について考えさせる。 ・武士と百姓の関係を調べさせる。 ・幕府はなぜ文治政治に転換したのか考えさせる。 ・民衆はどのように生産を高めたのか考えさせる。 ・流通の発展の特徴をとらえさせる。 ・町人文化はなぜ発展したのか考えさせる。

平成29年度 学習指導計画書

教科	公民	科目・単位	倫理・2単位
学科類型	普通科 I類	学 年	第2学年
教科書	「高等学校 改訂版 倫理」(第一学習社)		
副教材			
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青年期を生きる人間として、自己の課題を解決する糸口を見つける。 ・ 道徳心を養い、人としての素養を高める。 		

学習内容

学期	学習内容	学習のねらいと指導上の留意点
1	1章 青年期の課題と自己形成 2章 人間としての自覚	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人間の特質とは何かを理解する。 ・ 自分の生きている青年期はどのような位置にあり、どのような発達課題があるのかを考える。 ・ 青年期の心身の特徴を把握するとともに、青年期の悩みの心理的特徴に気づき、悩むことが自己形成につながることを理解する。 ・ 高校生の意識調査の結果を分析し、そこに現れている現代の高校生の特徴を読み取る。 ・ 自分自身の心に起こる状態を防衛機制の図にあてはめて考え、粘り強く欲求を抑制し、調整しながら目標達成を図る必要性を理解する。
2	3章 国際社会に生きる日本人としての自覚	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本人の精神的特性が、日本の風土とどのように関連しているのかを考える。 ・ 書籍や聞き取り調査などから日本の神話や伝承に関する諸資料を収集し、古代の日本人がどのような倫理意識を持っていたのかを理解する。
3	4章 現代に生きる人間の倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人間の尊厳に関わる思想家の思索を通して、西洋の近代人は、人間の尊厳をどこに見いだしていたのかを考える。 ・ 現代社会において人間の尊厳を自覚することの意義について考える。 ・ 先哲の思想の中から、人間の尊厳に関わる資料を収集し、活用する。
4	5章 現代の諸課題と倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・ クローン技術、遺伝子組換え、脳死臓器移植、安楽死と尊厳死、医療における自己決定権などのテーマから、探究したい課題を見だし、多面的・多角的に考察する。 ・ 生命をめぐる問題となっている事例を収集し、主体的に選択して活用する。 ・ 探究した結果を「問題点を話し合う」「自分の考えを文章にまとめる」などの方法で適切に表現する。

平成29年度 学習指導計画書

教科	公民	科目・単位	現代社会・2単位
学科類型	人間総合科	学 年	第2学年
教科書	清水書院 高等学校 現代社会 最新版 (現社 316)		
副教材			
学習目標	<p>1 人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深める。</p> <p>2 現代社会の基本的な問題について、主体的に考察し公正に判断する力を培う。</p> <p>3 社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などの観点を身に付ける。</p>		

学習内容

学期	学習内容	学習のねらいと指導上の留意点
1	<p>1 青年と自己実現</p> <p>(1) 青年期とはどういう時期なのだろう</p> <p>(2) 現代社会と青年期の生きかた</p> <p>(3) はたらくこと、社会とかかわること</p> <p>(4) 信仰と宗教の三大宗教</p> <p>(5) 日本の生活文化</p> <p>(5) 日本の伝統思想</p> <p>【課題学習】「自分探し」って何だろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会が抱えている様々な問題を現状と課題の面で把握させる。 ・青年期の特徴について主に心理学的な視点から自分が現在おかれている状況を理解させる。 ・青年期が延長されている現状を把握し、モラトリアムの問題点と意味を考える。
2	<p>1 民主政治の基本原則</p> <p>(1) 基本的人権の保障</p> <p>(2) 日本国憲法の成立と三大原則</p> <p>(3) 国民主権と天皇制</p> <p>(4) 日本国憲法の人権保障</p> <p>(5) 国の法律・政策を決める国会</p> <p>(6) 国の具体的な政治をおこなう内閣</p> <p>(7) 人権と法を守る裁判所</p> <p>(8) 日本の平和主義</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の成立過程を理解させ、大日本帝国憲法との比較を通し、相違点を考えさせる。 ・国会の仕組みと働きについて理解させる。 ・議院内閣制や裁判所の役割を理解させ、その問題点と意義について考えさせる。
3	<p>2 国民の政治参加と地方自治</p> <p>(1) 地方自治—住民の政治参加</p> <p>(2) 政党政治と選挙</p> <p>(3) マス・メディアの役割と世論の形成</p> <p>【課題学習】選挙制度と平等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自由と責任の関わりについて、先人たちの思想を踏まえながら考えさせる。 ・生活を送るうえで守らなければならないルールの意義について考えさせる。 ・司法制度改革の背景と内容を理解し、市民として裁判員制度にどのように関わるべきか考えさせる。
4	<p>3 個人の尊重と法の支配</p> <p>(1) 差別のない世界へ</p> <p>4 現代社会の経済社会と経済活動のあり方</p> <p>(1) 環境を守るために</p> <p>(2) 消費者と企業 - 私たち一人ひとりの責任</p> <p>(3) 私たちの安全な食物と日本の農業</p> <p>【課題学習】就職について考える</p> <p>(4) 臓器移植を考える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公害の歴史と、それに対する政府や企業の取り組みを理解させ、私たちにできることを考えさせる。 ・日本の食料の状況を理解させ、これからの食と農業の在り方について考えさせる。 ・消費者の権利を理解させ、かしこい消費者になるために自分にできることを考えさせる。

平成29年度 学習指導計画書

教科	地理歴史	科目・単位	世界史A・2単位
学科類型	人間総合科	学 年	第2学年
教科書	第一学習社 高等学校世界史A		
副教材	学習プリント		
学習目標	1 近現代史を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき正しく理解する。 2 現代の諸課題を歴史的観点から考察し、国際的社会で主体的に生きる力を身につける。 3 学習している地域の地図をその都度確認し、各国の位置関係など、地理的な感覚を養う。		

学習内容

学期	学習内容	学習のねらいと指導上の留意点
1	第2編 世界の一体化と日本 第2章 結びつく世界と近世の日本 第3章 ヨーロッパ・アメリカの 工業化と国民形成	「大航海時代」をきっかけに、諸地域の交流が生まれたことを理解する。 16世紀から18世紀にかけてのヨーロッパ諸国の動向と国際関係を理解する。 イギリス産業革命が果たした歴史的意義について、関連する資料を活用して考察し、その結果を適切に表現する。 アメリカ独立革命、フランス革命、ラテンアメリカ諸国の独立が果たした歴史的意味について考察し、資料を活用して基本的知識を身につける。
2	第4章 アジア諸国の変貌と近代の 日本	ウィーン体制化での自由主義、国民主義の運動について関心を高め、その歴史的意義を考察し、正しく理解する。 国民主義の高まりがヨーロッパで果たした役割を理解し、国民国家形成までの過程を把握する。 西部開拓や先住民やアフリカ系の人々との関係などから、アメリカの国民形成の独自性について理解する。 日本の明治維新とその後の近代化の動きが、東アジア諸国に与えた影響について考察し、その知識を身につける。
3	第3編 地球社会と日本 第1章 帝国主義の時代 第2章 急変する人類社会 第3章 世界戦争と平和	帝国主義列強の世界政策による世界の変容を、意欲的に探究し正しく理解する。 帝国主義列強の植民地支配について、民族・国境など現在まで残る問題と関連付けて考察し、理解する。 第一次世界大戦の原因について、これまでに学習したことと関連付けて、意欲的に探究する。 第一次世界大戦後の国際秩序について、資料を読み解き正しく理解する。 世界恐慌からファシズムの台頭、第二次世界大戦に至るまでの過程を互いに関連付けながら把握する。 第二次世界大戦の性格と、その過程で生じた米ソ冷戦の淵源や、原爆使用の意味について理解し、その知識を身につける。
4	第4章 三つの世界と日本の動向 第5章 地球社会への歩みと課題	米ソ陣営の対立、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立に対する関心を高め、1970年ごろまでの世界の政治・経済の動向について考察し、その結果を適切に表現する。 アジア・アフリカの民族独立運動、第3世界の台頭とその国際的役割、アジア・アフリカ諸国が抱える諸問題について理解し、その知識を身につける。 東欧諸国の民主化とソ連の社会主義体制の崩壊について関心を高め、その歴史的意味を多角的に考察し、その結果を正しく理解する。

平成29年度 学習指導計画書

教科	地理歴史	科目・単位	世界史B・2単位
学科類型	普通科Ⅱ類	学 年	第3学年
教科書	山川書店 『詳説 世界史B』		
副教材	浜島書店 『世界史詳覧』 山川書店 『詳説 世界史総合テスト』		
学習目標	<p>1 世界の歴史の大きな枠組みと展開を、諸資料に基づき、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させる。</p> <p>2 歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。</p>		

学習内容

学期	学習内容	学習のねらいと指導上の留意点
1	18～19世紀ヨーロッパ史	<ul style="list-style-type: none"> ・イギリス産業革命の背景と展開、産業資本主義体制の確立とその影響について理解する。 ・フランス革命の動きからウィーン体制の成立までと、その体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動を理解する。
2	帝国主義の歴史 (～第二次世界大戦まで)	<ul style="list-style-type: none"> ・帝国主義時代の欧米列強による世界各地の分割や植民地化をめぐる競争と、従属させられた地域社会の抵抗と変容を理解する。 また、2つの世界大戦に至る国際情勢の変遷について知識を身につける。
3	現代の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・帝国主義の時代からグローバル化した「地球世界」が成立した現代までの歴史を再確認し、その課題から21世紀の世界を展望する。
4	資料を活用して探究する地球世界の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地球世界の課題に関する主題を設定し、選択したその時代の資料を活用して探求し、表現する技能を学ぶ。

平成29年度 学習指導計画書

教科	地理歴史	科目・単位	日本史B・2単位
学科類型	普通科 II類	学 年	第3学年
教科書	清水書院 高等学校 日本史B 最新版		
副教材	浜島書店 新詳日本史 清水書院 高等学校 日本史B 最新版 ワークノート		
学習目標	1. 現代日本がどうしてできあがったのか、先人の業績と日本の歩みを学ぶ。 2. 複雑な社会や経済・文化の仕組みの成り立ちと他国の人々との交流を学ぶ。 3. これからの日本のあり方と各自の生き方を考える。		

学習内容

学期	学習内容	学習のねらいと指導上の留意点
1	下剋上の社会と庶民の台頭 中世から近世社会へ	<p>守護大名による領国支配体制の強化に伴い、幕府政治の不安定化が強まり、応仁・文明の乱から戦国の世になっていく過程を理解させる。</p> <p>織豊政権の統一政策を幕藩体制へのつながりという観点から理解させる。</p>
2	幕藩体制の成立と国際関係	<p>幕府と藩、農村・農民支配の特色、幕藩体制の特色を政治的・社会的な背景や役割と関連させて理解させる。鎖国政策については鎖国が社会に及ぼした影響を理解させる。</p>
3	幕藩体制の展開	<p>文治政治に転換し、安定した幕藩体制下での農業・商工業・その他の産業が、交通の発達や貨幣・金融制度の確立などと相互に関連して発展していったことを考察させる。</p> <p>町人文化は全国的商業活動の拡大による都市発展、町人の経済的繁栄を背景に、庶民の生活意識を反映した文化であったことを理解させる。</p>
4	幕藩体制の動揺	<p>商品経済の発展、農民層の分解など、社会構造の変化による幕藩体制動揺の過程と、社会・経済の発展の中で近代を準備する新しい要素の形成について理解させる。</p>

平成29年度 学習指導計画書

教科	公民	科目・単位	政治・経済・3単位
学科類型	普通科Ⅱ類・Ⅰ類（6組）	学 年	第3学年
教科書	清水書院『新政治・経済 最新版』		
副教材	数研『新課程 4ステージ演習ノート 政治・経済』		
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・民主主義の本質に関する理解を深めさせる。 ・現代における政治，経済，国際関係などについて客観的に理解させ，それらに関する諸課題について主体的に考察させ，公正な判断力を養い，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。 		

学習内容

学期	学習内容	学習のねらいと指導上の留意点
1	<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治の基本 ・政治機構 ・司法制度 	<ul style="list-style-type: none"> ・法に基づく政治の基本について理解する。 ・主権に基づく政治の基本について理解する。 ・政治機構・司法制度について，日本と他国を比較しながらそれぞれの特徴を理解する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・戦争と平和 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界の主な国際紛争について知る。 ・資源枯渇や環境問題等，現代の世界がかかえる主な課題について理解する。 ・平和に向けた国際的な協力のあり方について考察させる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・経済の在り方と生き方について 	<ul style="list-style-type: none"> ・国民が重要であると考えている経済目標には両立しがたいものが含まれていることを，具体的な事例を通して理解する。 ・効率と公平とのバランスをどのようにとったらよいのか，具体的な事例を通して考察させる。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の雇用問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の日本にはどのような労働・雇用問題があるか，具体的な事例を通して考察させる。 ・グローバル化の進展にともなう労働力移動の活発化によって，どのような問題が生じているか，考察させる。

平成29年度 学習指導計画書

教 科	地理歴史	科目・単位	世界史演習B・3単位
学科類型	普通科Ⅱ類・Ⅰ類	学 年	第3学年
教科書	山川書店 『詳説 世界史B』		
副教材	浜島書店 『世界史詳覧』 山川書店 『詳説 世界史総合テスト』		
学習目標	<p>1 世界の歴史の大きな枠組みと展開を、諸資料に基づき、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させる。</p> <p>2 歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。</p>		

学習内容

学期	学習内容	学習のねらいと指導上の留意点
1	オリエント・地中海・南アジア・東アジア・及び他の諸地域の古代史	<ul style="list-style-type: none"> ・文明の形成された諸地域の地理的特質、古代帝国の支配秩序や宗教を確認する。 ・主題を設定し、世界史を時間的な繋がりに着目して整理・表現する技能を学ぶ。
2	5～16世紀の世界の歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・古代帝国崩壊後のヨーロッパ・西アジア・東アジアといった諸地域世界の新しい国家や社会の形成を確認し、その相互の交流を理解する。
3	16～19世紀の世界の歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・繁栄するアジアに進出したヨーロッパ勢力により世界の一体化が進み、ヨーロッパ優位の「近代」の世界構造が構築されたことを確認する。
4	資料を活用して探究する地球世界の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地球世界の課題に関する主題を設定し、選択したその時代の資料を活用して探求し、表現する技能を学ぶ。

平成29年度 学習指導計画書

教科	地理歴史	科目・単位	日本史演習 B・3単位
学科類型	普通科 II類	学 年	第3学年
教科書	山川出版社 詳説日本史B		
副教材	新詳日本史 浜島書店 数研出版 4ステージ演習ノート		
学習目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。		

学習内容

学期	学習内容	学習のねらいと指導上の留意点
1	第IV部 近代・現代 第9章 近代国家の成立	<ul style="list-style-type: none"> *国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、開国から明治維新に至るまでの過程を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。 *明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、明治初期の政治的変革と国家的統一過程を考察する。 *明治初期の対外政策について、欧米への対応と、アジアに対する外交政策の違いについて考察する。
2	第10章 二つの世界大戦とアジア 第11章 占領下の日本	<ul style="list-style-type: none"> *第一次世界大戦前後の政治の動向及び対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて考察する。 *第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関連や政党内閣の成立などと関連させて考察する。 *日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について考察する。
3	第12章 高度成長の時代 第13章 激動する世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> *独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を考察する。 *朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。 *高度成長が終焉し、保守政権が動揺するなか、二度にわたる石油危機を乗り越え、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に考察する。
4	演習	*入試問題演習

平成29年度 学習指導計画書

教 科	公民	科目・単位	政治・経済・2単位
学科類型	普通科I類	学 年	第3学年
教科書	清水書院『新政治・経済 最新版』		
副教材			
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・民主主義の本質に関する理解を深めさせる。 ・現代における政治，経済，国際関係などについて客観的に理解させ，それらに関する諸課題について主体的に考察させ，公正な判断力を養い，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。 		

学習内容

学期	学習内容	学習のねらいと指導上の留意点
1	<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治の基本 ・政治機構 ・司法制度 	<ul style="list-style-type: none"> ・法に基づく政治の基本について理解する。 ・主権に基づく政治の基本について理解する。 ・政治機構・司法制度について，日本と他国を比較しながらそれぞれの特徴を理解する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・戦争と平和 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界の主な国際紛争について知る。 ・資源枯渇や環境問題等，現代の世界がかかえる主な課題について理解する。 ・平和に向けた国際的な協力のあり方について考察させる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・経済の在り方と生き方について 	<ul style="list-style-type: none"> ・国民が重要であると考えている経済目標には両立しがたいものが含まれていることを，具体的な事例を通して理解する。 ・効率と公平とのバランスをどのようにとったらよいのか，具体的な事例を通して考察させる。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の雇用問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の日本にはどのような労働・雇用問題があるか，具体的な事例を通して考察させる。 ・グローバル化の進展にともなう労働力移動の活発化によって，どのような問題が生じているか，考察させる。

平成29年度 学習指導計画書

教 科	公民	科目・単位	社会演習C・2単位
学科類型	普通科I類	学 年	第3学年
教科書			
副教材			
学習目標	落ち着いてじっくり考える力と、それを表現する力を養う。		

学習内容

学期	学習内容	学習のねらいと指導上の留意点
1	徴兵制 死刑制度 臓器移植	講義→グループ決め(4グループ)→意見(肯定・否定)決定(1時間) 調べ学習(テーマと意見に基づいて)(5時間) ディベート(3時間) まとめ(グループ・個人)(1時間) 以上を1サイクルとして3つのテーマを学習する。
2	増税 食糧問題 人工妊娠中絶 模擬選挙	講義→グループ決め(4グループ)→意見(肯定・否定)決定(1時間) 調べ学習(テーマと意見に基づいて)(5時間) ディベート(3時間) まとめ(グループ・個人)(1時間) 以上を1サイクルとして3つのテーマを学習する。 「女性が働きやすい社会をつくるには」というテーマで模擬選挙を行う。
3	自主設定課題による卒業制作	自分で設定したテーマに関して調べ学習を行い、それを新聞形式でまとめる。
4	プレゼン学習	「起業をしてみよう」というテーマで、グループごとに1つの会社を起こし、商品開発を行う。そしてその商品についてのプレゼンコンテストを行う。

平成29年度 学習指導計画書

教科	地理歴史	科目・単位	日本史演習C・4単位
学科類型	普通科I類	学 年	第3学年
教科書	清水書院 高等学校 日本史B 最新版		
副教材	浜島書店 新詳日本史 清水書院 高等学校 日本史B 最新版 ワークノート		
学習目標	1. 現代日本がどうしてできあがったのか、先人の業績と日本の歩みを学ぶ。 2. 複雑な社会や経済・文化の仕組みの成り立ちと他国の人々との交流を学ぶ。 3. これからの日本のあり方と各自の生き方を考える。		

学習内容

学期	学習内容	学習のねらいと指導上の留意点
1	開国と幕末の動乱 明治維新と富国強兵 立憲国家と日清戦争	諸制度の改革や富国強兵・殖産興業政策について、欧米列強とのかかわりに着目して政治、外交、経済など様々な面から考察させる。 国会開設の運動など、国民の間に政治的関心が高まるなかで立憲体制が成立し、近代国家の基盤が形成された過程を考察させる。
2	日露戦争と国際関係 第一次世界大戦と日本	日本が韓国併合や満州への勢力拡張などを通じて植民地支配を進めたことを考察させるとともに、国民の対外意識の変化や近隣諸国の受け止め方について考えさせる。 第一次世界大戦とその前後の国際社会の動向に留意して、我が国の対外政策や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察させる。
3	ワシントン体制 恐慌の時代 軍部の台頭	大衆社会成立の中での政党政治の発展を、政治や社会運動の動向に留意して考察させる。 「満州国」建国や華北分離工作などを進め、日中全面戦争にいたった経緯を理解させる。
4	第二次世界大戦 占領と改革	日本の掲げた「大東亜共栄圏」の実態を理解させるとともに、戦争による多大な犠牲や被害について考察させる。 サンフランシスコ講和条約の調印と日米安全保障条約の締結や、占領終結と独立、新しい外交関係と安保闘争など、当時の国際情勢と国内政局について考察させる。

平成29年度 学習指導計画書

教科	地理歴史	科目・単位	世界史演習C・4単位
学科類型	普通科 I類	学 年	第3学年
教科書	実教出版 『世界史B』新訂版		
副教材	実教出版 『世界史B 新訂版 完全準拠 演習ノート』(戸塚 雄式 発行)		
学習目標	<p>1、テーマ史学習を通し、世界史を学ぶことの意義と楽しさを知る。</p> <p>2、ヨーロッパ史を中心とした近現代史の学習及びそれに関連した課題に取り組むことを通じて、思考力および表現力を涵養する。</p> <p>3、ヨーロッパ史を中心とした近現代史の学習を通じて、近現代の歴史と現代の世界に残る諸問題とのつながりについて考察できるようになる。</p>		

学習内容

学期	学習内容	学習のねらいと指導上の留意点
1	<p>フランス革命とナポレオン帝政</p> <ul style="list-style-type: none"> 近代ヨーロッパ アメリカの国民国家 ウィーン体制の成立とその動揺 	<ul style="list-style-type: none"> フランス革命前と革命後のフランスの変化に着目させる。 ウィーン体制の成立とその崩壊及びヨーロッパ各国の動きについての学習を通じて、ナポレオン帝政が1815年以降のヨーロッパに与えた影響に着目させる。 テーマ史学習を通して、世界史を学ぶことの楽しさを知る。
2	<p>19世紀後半の欧州とアメリカ</p> <ul style="list-style-type: none"> 19世紀後半の西欧各国の情勢 19世紀後半の東欧とロシアの情勢 19世紀後半の北欧の情勢 19世紀後半のアメリカの情勢 帝国主義の始まりとその要因 欧米諸国の帝国主義とその影響 	<ul style="list-style-type: none"> 19世紀後半に起こったヨーロッパ再編の流れについて理解させる。 19世紀後半の複雑な欧米諸国の関係性の背後にある各国の思惑に着目させる。 アメリカの南北戦争における混乱と、その後のアメリカの発展についての理解を深める。 19世紀末からにかけて欧米諸国に広まった「帝国主義」についての理解を深める。
3	<p>アメリカの帝国主義</p> <ul style="list-style-type: none"> アメリカの発展と海外進出 メキシコ革命 <p>第一次世界大戦</p> <ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦の経過と当時の社会 総力戦と植民地 ドイツ革命、ロシア革命、大戦の終結 ソ連の成立と東欧 	<ul style="list-style-type: none"> アメリカ国内の目覚ましい経済発展と、それに伴う海外進出及び新たに発生した国内問題に着目させる。 第一次世界大戦発生の背景にある、当時の欧米各国の帝国主義拡大の動きと大戦発生時の社会情勢について考察させる。 第二次世界大戦後も根強く残った「ソ連」と「東欧諸国」との関係性ができたこの時期の国際関係についての理解を深める。
4	<p>第二次世界大戦</p> <ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦の経過 戦後構想と戦争終結 <p>冷戦と多極的国際社会へ</p> <ul style="list-style-type: none"> 冷戦時代の国際関係 戦後の欧米諸国 	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦が発生した経緯及び大戦の経過について学習した上で、当時の国際政治について考察し、その考えを深める。 第二次世界大戦後の世界にもたらされた「冷戦」という構図と、その構図が世界全体に与えた影響について理解を深める。

平成29年度 学習指導計画書

教科	地理歴史	科目・単位	日本史B・2単位
学科類型	普通科I類(6組)	学 年	第3学年
教科書	清水書院 高等学校 日本史B 最新版		
副教材	浜島書店 新詳日本史 清水書院 高等学校 日本史B 最新版 ワークノート		
学習目標	1. 現代日本がどうしてできあがったのか、先人の業績と日本の歩みを学ぶ。 2. 複雑な社会や経済・文化の仕組みの成り立ちと他国の人々との交流を学ぶ。 3. これからの日本のあり方と各自の生き方を考える。		

学習内容

学期	学習内容	学習のねらいと指導上の留意点
1	下剋上の社会と庶民の台頭 中世から近世社会へ	<p>守護大名による領国支配体制の強化に伴い、幕府政治の不安定化が強まり、応仁・文明の乱から戦国の世になっていく過程を理解させる。</p> <p>織豊政権の統一政策を幕藩体制へのつながりという観点から理解させる。</p>
2	幕藩体制の成立と国際関係	<p>幕府と藩、農村・農民支配の特色、幕藩体制の特色を政治的・社会的な背景や役割と関連させて理解させる。鎖国政策については鎖国が社会に及ぼした影響を理解させる。</p>
3	幕藩体制の展開	<p>文治政治に転換し、安定した幕藩体制下での農業・商工業・その他の産業が、交通の発達や貨幣・金融制度の確立などと相互に関連して発展していったことを考察させる。</p> <p>町人文化は全国的商業活動の拡大による都市発展、町人の経済的繁栄を背景に、庶民の生活意識を反映した文化であったことを理解させる。</p>
4	幕藩体制の動揺	<p>商品経済の発展、農民層の分解など、社会構造の変化による幕藩体制動揺の過程と、社会・経済の発展の中で近代を準備する新しい要素の形成について理解させる。</p>

平成29年度 学習指導計画書

教科	地理歴史	科目・単位	日本史演習B・3単位
学科類型	普通科I類(6組)	学 年	第3学年
教科書	清水書院 高等学校 日本史B 最新版		
副教材	浜島書店 新詳日本史 清水書院 高等学校 日本史B 最新版 ワークノート		
学習目標	1. 現代日本がどうしてできあがったのか、先人の業績と日本の歩みを学ぶ。 2. 複雑な社会や経済・文化の仕組みの成り立ちと他国の人々との交流を学ぶ。 3. これからの日本のあり方と各自の生き方を考える。		

学習内容

学期	学習内容	学習のねらいと指導上の留意点
1	開国と幕末の動乱 明治維新と富国強兵 立憲国家と日清戦争	諸制度の改革や富国強兵・殖産興業政策について、欧米列強とのかかわりに着目して政治、外交、経済など様々な面から考察させる。 国会開設の運動など、国民の間に政治的関心が高まるなかで立憲体制が成立し、近代国家の基盤が形成された過程を考察させる。
2	日露戦争と国際関係 第一次世界大戦と日本	日本が韓国併合や満州への勢力拡張などを通じて植民地支配を進めたことを考察させるとともに、国民の対外意識の変化や近隣諸国の受け止め方について考えさせる。 第一次世界大戦とその前後の国際社会の動向に留意して、我が国の対外政策や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察させる。
3	ワシントン体制 恐慌の時代 軍部の台頭	大衆社会成立の中での政党政治の発展を、政治や社会運動の動向に留意して考察させる。 「満州国」建国や華北分離工作などを進め、日中全面戦争にいたった経緯を理解させる。
4	第二次世界大戦 占領と改革	日本の掲げた「大東亜共栄圏」の実態を理解させるとともに、戦争による多大な犠牲や被害について考察させる。 サンフランシスコ講和条約の調印と日米安全保障条約の締結や、占領終結と独立、新しい外交関係と安保闘争など、当時の国際情勢と国内政局について考察させる。

平成29年度 学習指導計画書

教科	地理歴史	科目・単位	日本史A・3単位
学科類型	人間総合科	学 年	第3学年
教科書	第一学習社 「高等学校 日本史A」		
副教材	学習プリント		
学習目標	我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。		

学習内容

学期	学習内容	学習のねらいと指導上の留意点
1	近代への胎動 明治維新 近代国家の確立	江戸時代の日本の対外関係について理解する。 開国に至る経緯と、幕府の対応について理解する。 明治政府の中央集権化・藩閥専制の傾向に対し、自由民権運動がおこり、国民の政治的関心が高揚し、憲法制定・国会開設に至る動きを理解する。
2	対外関係の変化 政党政治の展開 近代産業の発展と社会運動の展開	条約改正が最大の外交課題であることを理解する。 日清・日露戦争の経緯と結果を理解する。 明治後半から大正期において、国内的に政党政治が展開したことを理解する。 大正期に女性解放運動が展開したことを理解する。
3	第一次・第二次世界大戦と日本 独立後の政治と対外関係	第一次世界大戦を通しての日本の外交方針について理解する。 軍部の台頭の過程と、これにともなう政治的な状況の変化について理解する。 太平洋戦争に至る過程のなかで、国民生活はどのように変化したのかを理解する。
4	現代の日本と世界	冷戦の終結と激動する国際情勢、国際的経済秩序の転換の中で、日本の政治・経済の在り方を考えさせる。